

# 平成29年度 公共事業事後評価

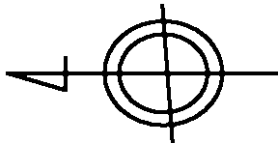
あらり さかもとかわ

## 安良里坂本川 通常砂防事業

(賀茂郡 西伊豆町 安良里 地先)

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

# 安良里坂本川の位置



# 事業概要

溪流名：安良里坂本川  
箇所：賀茂郡西伊豆町安良里地先  
事業期間：平成17～24年度  
事業費：576百万円  
施設概要：  
砂防堰堤工 2基

1号堰堤(不透過型) 高さ14.5m 堤長73.5m  
2号堰堤(透過型) 高さ12.5m 堤長48.5m



2号堰堤工(透過型)下流正面より



堰堤工上流部荒廃状況



1号堰堤工(不透過型)下流正面より

# 事業の効果等 (費用対効果の分析)

基準年：当初平成17年、最終平成29年

## 費用対効果

B/C : 3.43 (当初：3.00)

### 総費用(C)

☆総費用 4.22億円 → 最終5.39億円

・建設費 ・維持管理費

<増加理由>

土砂流出を受け地山の崩落対策として、モルタル吹付工などの法面補強工が必要となったため。

### 総便益(B)

☆総便益 12.51億円 → 18.50億円

□直接被害

・家屋被害 27戸

・道路被害 580m

・人的被害(逸失利益)

<増加理由>

□間接被害

・家計における応急対策費

・人的被害(精神的損害)

費用便益分析マニュアルの改訂により、人的被害の算定方式や単価が大幅に変更され、精神的損害額の考え方が明記されたため

# 主な総費用の増額要因

平成20年6月29日豪雨後の状況



平成20年6月29日豪雨後の状況



モルタル吹付袖部補強状況



2号堰堤完成の状況



# 事業効果の発現状況

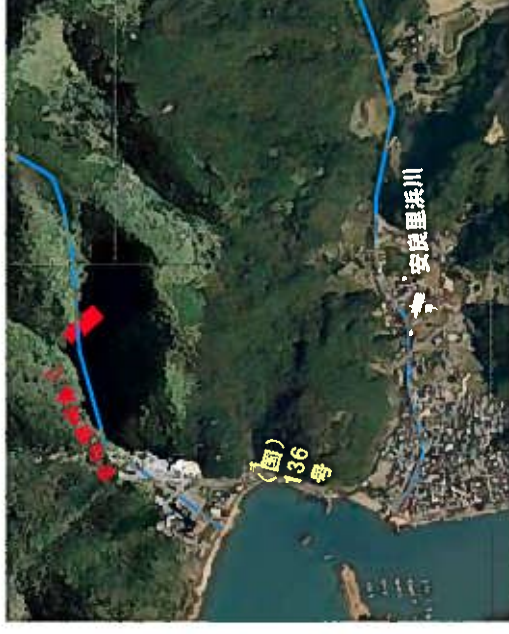
平成25年西伊豆豪雨で発生した土石流を捕捉し、人家、道路への被害を防止。

安良里浜川



## 【被災状況】

- ・国道136号埋塞(延長50m)  
全面通行止め 7時間
- ・土砂到達戸数 80戸



安良里坂本川



土石流による被害なし

# 事業効果の発現状況

平成25年西伊豆豪雨で土石流が発生したが2基の堰堤で土砂を捕捉

1号堰堤 完成時写真



2号堰堤 完成時写真



1号堰堤 土石流捕捉状況



2号堰堤 土石流捕捉状況



# 事業効果の発現状況

地元住民へのアンケート調査結果（平成29年4月）

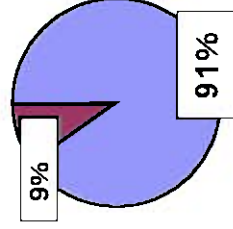
## 「安良里坂本川」砂防堰堤の評価

45%の人が砂防堰堤の完成後、土砂災害に対する安心感を得られた。残りの回答者からは、他の溪流からの土石流や周辺地域のがけ崩れなど、多くの土砂災害危険箇所があることから、十分な安心感を得られていない。

## アンケート結果

Q.静岡県が行う土石流対策は  
今後必要だと思うか？

- (1) 希冀に実施するべき
- (2) どちらかといえば必要
- (3) どちらともいえない
- (4) 必要性がなくなっている



全ての住民が今後も静岡県が行う土石流対策は必要と回答している。

→ 今後も着実な整備が必要。

- ・ 平成29年4月調査
- ・ 安良里坂本川 保全対象地区にする住民11人



# 事業実施による環境の変化



施工直後



現在

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化



民生の安定化  
地域の土砂災害に対する  
安全度が向上

# 今後の課題と対応方針（ソフト対策事業との連携）

事業効果は発現されており、改善措置の必要はない

人的被害をなくすためには、

砂防堰堤の設置（ハード対策）

地域と連携した  
ソフト対策の推進  
（西伊豆町実施）



- 土砂災害警戒区域の指定  
（平成21年10月20日）
- 警戒避難体制作り
- 防災意識の向上



適切な維持管理  
（静岡県実施）

- 異常気象後のパトロール



# 今後の課題と対応方針（法面保護の機能回復）



植生シート施工部の現状況



1号堰堤前面部の現状況



西伊豆町での試験施工状況（平成28年11月）



西伊豆町での試験施工状況（平成29年6月）

